

大仙市内 個人商店、飲食店が連携

ポイントカード運用へ

大仙市内で菓子や花、靴などを販売する個人商店や飲食店などが連携して二十日、ポイントカードシステム「ゆきんこカード」の運用を始める。買い物額に応じてたまるポイントを現金に換えられるという特典で顧客を囲い込み、買い物履歴をコンピューター管理して効果的な集客に役立てる狙い。ゆきんこカード事務局は、約十の加盟店でスタートし、将来的には百店に増やしたい考えだ。

全国の中小店舗連合のポイントカードを運営しているク

20日から 地域を活性化



ラブネット（東京）のシステムを導入する。加盟店は専用

大仙市の個人商店が運用を始める「ゆきんこカード」

の端末器を設置。買い物情報はこの端末からクラブネットのコンピューターに送られて集中管理し、来店回数など顧客の買い物動を把握する。パソコン操作が苦手な経営者のために、ゆきんこカード事務局が業務を代行することも検討しているという。

事務局を務める精巧堂印刷所（大仙市大曲）の越中奉代表社員は「県外資本の大型店が進出して個人経営者は苦戦している。地域の経営者が手をつなぎ、生き残りを図る。地域の商店が元気になることで地域活性化を期待したい」としている。